

各関係機関の長 殿

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター理事長
(公印省略)

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部
認知機能研究室長の公募について

当センターの運営にあたりましては、日頃より格段のご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、当センター精神保健研究所の行動医学研究部では室長を公募することとなりました。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴学及び貴機関において意欲的で適格な方がおられましたら、下記の書類を添えてご応募下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名及び人数

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
行動医学研究部 認知機能研究室長 1名
(研究職：任期付年俸制職員又は副所長・部長・室長年俸制職員)

2. 職務内容

行動医学研究部は、犯罪や災害などでトラウマの被害を受けた人々の回復支援のために、病態解明、症状評価、認知行動療法の発展、実験的トラウマ記憶研究に取り組み、効果的な支援、治療のための社会的普及活動にも取り組んでいる。

このような状況に置かれた人々に発生する精神疾患の発生機序及び病態解明、治療支援に係る心理学、生物学的研究、これに関連する精神保健の調査研究に従事する人材を求めている。認知機能研究室長は、以上のような部の研究活動の一翼を担い、国際的な視野を持ちつつ、様々なトラウマ関連の被害を受けた人々の回復と治療に役立つことを目指した、ゲノム、バイオマーカー、認知機能の測定などを取り入れた病態解明と行動特性の研究に従事するものである。

当面求められる研究活動課題としては、以下のようなものがあげられる。このいずれかについて積極的な貢献のできる人材を求めている。

- (1) PTSDとトラウマ被害に関するゲノム、バイオマーカー、認知機能の検討を踏まえた病態解明と行動特性に関する研究。
- (2) 児童期のトラウマ体験の長期的影響の生物学的基盤の解明。
- (3) 同様の方法論を用いた、うつ病、不安症とPTSDの比較研究。

3. 応募資格

- (1) PTSDに対して、前項(1)の研究の実績のある者。
- (2) 臨床研究の方法論、統計分析の方法論を熟知し、研究計画の企画・設計・実行にわたって積極的に実務に取り組める者。
- (3) 精神医学の臨床経験を有する者。
- (4) 医学博士、心理学博士、保健学博士、福祉学博士あるいは関連分野の博士号の資格を持つ者。

4. 採用予定年月日
平成31年6月1日
5. 任期
採用日から5年間
6. 勤務形態及び給与並びに身分
 - (1) 身分：国立研究開発法人職員（常勤職員）※採用から6ヶ月間は試用期間です。
 - (2) 給与：基本給（経験年数により決定します）、地域手当、通勤手当等センター給与規定に基づき支給
 - (3) 賞与：6月及び12月
 - (4) 勤務形態：フレックス制、1週38時間45分勤務
 - (5) 休日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（12/29～1/3）
 - (6) 休暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、病気休暇、忌引等
 - (7) 保険等：共済組合（健康保険、年金）、雇用保険、労災保険加入
 - (8) 退職手当：有
7. 提出書類
 - (1) 履歴書（高校卒業以降を記入すること。写真添付、様式自由）
 - (2) 業績目録
原書、総説、著書、その他に分けてまとめ、学会発表は国際学会及び国内学会での発表をまとめる。
 - (3) 主要論文3編の別刷（コピーでも可）を10部
 - (4) 現在行っている研究及び将来の研究に対する抱負
（1200字程度 A4版にて作成）
 - (5) 理事長宛て推薦状1通（ただしNCNP職員の場合は必須ではない。）
8. 選考方法
書類選考並びにセミナー及び面接審査
（セミナー及び面接審査の日程については、書類選考合格者に別途ご連絡いたします。）
9. 提出締切日
平成31年2月1日（金）必着
10. 書類送付先
〒187-8553 東京都小平市小川東町4丁目1番1号
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所長 宛
（封筒に「行動医学研究部認知機能研究室長応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと。）
11. 問合せ先
〒187-8553 東京都小平市小川東町4丁目1番1号
国立精神・神経医療研究センター研究所事務室研究所事務係
電話 042-346-1943
FAX 042-346-1944
なお、国立精神・神経医療研究センターの概要は、<http://www.ncnp.go.jp/>をご参照下さい。
（研究内容についての応募前の問合せはdhp05@ncnp.go.jp 部長金吉晴まで）